

第4部 鹿沼市保育園整備計画

< 1 > 計画策定の目的と経過

本計画は、一人ひとりの子どもが健やかに成長できる環境づくりを社会全体の課題として、関係機関、団体等との連携を強化し、子育て支援のための推進体制を整備し、計画を実行していきます。

(1) 計画の見直しの背景及び趣旨

本市では、平成22年3月に策定した「鹿沼市保育園整備計画」(以下、「整備計画」という。)に基づき、平成28年3月に改訂を加えながら公立保育園については、統合による拠点化や民営化等を、また、民間施設については、幼稚園から認定こども園への移行や小規模保育事業施設の開設など、新たな取り組みに対し支援を行ってきました。令和2年3月で、計画期間が終了となることから、令和2年度から5年間を新たな計画期間とする整備計画を策定するものです。

(2) これまでの公立保育園の整備状況等

表1 「鹿沼市保育園整備計画」に基づいた公立保育園の整備状況等

施設名	整備内容等
拠点施設を整備し統廃合	
にっこり保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・北部地域拠点施設(にっこり保育園)を整備(H26完成)(H27.4開園) ・にっこり保育園内に地域子育て支援センターを整備(H26完成) ・北保育園及びこぼと保育園を廃園(H27.3廃園)
民営化	
もみやま保育園	・まなぶ保育園、村井保育園の定員増の施設整備後に廃園(H24廃園)
清洲保育園	・民間移管型により民営化(H27.4から民営化)
いぬかい保育園	・大地の恵みのな一さりい開園により廃園(H29.3廃園)
ひなた保育園	・ふじおかメソッドひなた保育園開園により廃園(R2.3廃園)
廃園・休園	
西大芦児童館	・在園児の転園等により休園(H23.4)、その後に廃園(H27.3廃園)
加蘇児童館	・在園児の転園等により休園(H28.4)、その後に廃園(H31.3廃園)

第4部 計画の推進に向けて

粕尾保育園	・在園児の転園等により休園（H28.4）、その後に廃園（H31.3 廃園）
永野保育園	・在園児の転園等により休園（R2.4）

※ 拠点施設の整備（統廃合により2園を廃園）と民営化等により、1園増10園減となり、令和2年4月時点で、開園している公立保育園は7施設になります。

<2> 現状と課題

（1）待機児童数の推移

本市の待機児童数は、平成27年からの推移をみると4月1日時点では出ていませんが、10月1日時点では、3歳未満児において50名を超える待機児童が出た年もあります。

また、保留児童についても3歳未満児が多く50人前後で推移していますが、この保留児童は、翌年の4月にはほとんどの児童が入所できている状況にあります。

このような状況から、今後も待機児童対策として、少子化や女性就業率の動向を見極め、必要となる保育量の把握と保育の受け皿の確保が必要となります。

表2 待機児童数・保留児童数の推移

(人)

年 度	待機児童数								保留児童数						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	
H27	4/1	0	0	0	0	0	0	0	調査なし						
	10/1	22	21	10	0	0	0	53							
H28	4/1	0	0	0	0	0	0	0	4	10	2	2	0	0	18
	10/1	23	0	0	0	0	0	23	31	13	3	6	0	0	53
H29	4/1	0	0	0	0	0	0	0	2	7	3	4	2	0	18
	10/1	0	0	0	0	0	0	0	25	16	9	3	2	0	55
H30	4/1	0	0	0	0	0	0	0	6	18	9	6	2	0	41
	10/1	0	18	0	0	0	0	18	22	0	10	3	2	0	37
H31	4/1	0	0	0	0	0	0	0	1	10	6	3	2	1	23
	10/1	0	0	0	0	0	0	0	26	19	15	6	4	0	70

(2) 各年度の実施状況の公表及び見直し

公立保育園は、行政の一部であるという考えのもと、地域の子どもや家庭の状況を直接的に把握できる立場にあることから、総合的な子育て支援において、そのリーダー的な役割を担い、さらなる保育サービスの向上に努めなければなりません。

また、今後、年少人口が減少した場合は、保育の受け皿が過剰になる可能性もあります。その場合には、公立保育園は、保育定員の調整等により「保育の需要と供給の調整役」を担う必要など、次のような役割を担っています。

(公立保育園が担うべき役割)

- 民間保育園では対応が難しい保育サービスの提供
- 地域子育て支援拠点事業におけるリーダー的役割
- こども総合サポートセンター、あおば園、児童相談所等の関係機関との連携
- 子育て困難家庭への支援
(DV、児童虐待や配慮を要する子どもや家庭への支援等)
- 緊急・一時的な保育への対応
(地震・風水害など災害発生時や新型インフルエンザ等の特殊な感染症の発生によって臨時休園を要請した場合の緊急保育等)
- 将来、保育需要が減少した場合等における保育園定員の調整

<3> 保育園の運営と整備の基本的な考え方

本市では、令和2年度からの「子ども・子育て支援事業計画」における保育の必要量に対し、令和4年度までの0歳児クラスの保育の受け皿が足りていない状況ですが、今後、反対に3歳児以上クラスでは受け皿の過剰が見込まれています。これらのことから、今後の保育園等の運営や整備については、次のように対応していきます。

(1) 公立保育園の運営

現在開園している公立保育園・児童館7施設（休園の永野保育園を除く）は、民間保育園では対応が難しい保育や保育園定員の調整等に対応するため、今計画期間中は基本的には公立の保育園として存続いたします。

しかしながら、入所児童数が少ない保育園・児童館では、成長に差のある異年齢児の合同保育を実施していきますが、年齢に応じた保育が望まれ、かつ、集団生活を学ぶためには、ある程度の児童数が必要になります。このことから、児童数が、計画期間内に定員の10%を下回るなど、減少が著しい保育園・児童館については、児童の保育環境を最優先に考え、保護者等と相談しながら存続について再度検討していくこととします。

(2) 公立保育園の修繕・維持管理

公立保育園については、前述したように統合による拠点化や民営化等により整備を行ってきたため、今計画期間中には、園舎の新たな改築整備は行わないこととし、近年の夏期の気温上昇に伴い熱中症対策が必要なことから、公立保育園に設置されているエアコン等の設備や屋根等の修繕を実施するなどにより、適切な保育環境の維持管理に努め施設の長寿命化を図っていきます。

(3) 民間保育施設等の整備

本市の保育量は、令和3年度までの0歳児クラスの保育の受け皿の不足が見込まれていますが、その後は、不足が解消する見込みであることから、受け皿の確保は、民間保育施設等の整備の動向を確認しながら、幼稚園の認定こども園への移行に伴う園舎整備を優先して支援していくことで対応していきます。

<4> 計画の推進

次の方針のもと計画を推進していきます。

- 事業計画との整合性を十分に保ちながら推進していきます。
- 計画期間内においては、認定こども園等の整備を優先し支援していきます。
- 施設の修繕については、必要性の高いからものから順次実施していきます。
- 民間保育園と公立保育園、さらには認定こども園等がそれぞれの役割のもと、互いに連携し合い、量と質ともにより充実した保育を提供していきます。
- 保育の質を向上させるため、国の保育所保育指針に則った指導監督や職員の研修を行っていきます。また、引き続き、正規保育士の計画的な雇用に努めていきます。

第4部 計画の推進に向けて

公立保育園・児童館施設の概要

	施設名	住所	建築年次	構造	敷地面積	建物床面積
1	こじか保育園	万町 919	平成 11 年	木造	2, 975.77	864.35
2	西保育園	坂田山 2 丁目 163	昭和 55 年	鉄骨造	2, 500.00	692.18
3	南保育園	磯町 126-1	平成 8 年	木造	1, 785.73	422.36
4	にっこり保育園	武子 800-27	平成 26 年	木造	11, 168.00	1, 095.34
5	なんま保育園	西沢町 434	昭和 58 年	鉄骨造	2, 041.00	445.49
6	栗野保育園	口栗野 754-3	平成 7 年	木造	5, 998.36	781.92
7	板荷児童館	板荷 3046	昭和 43 年	木造	1, 355.31	237.12
8	永野保育園（休園）	上永野 766-4	昭和 43 年	木造	1, 660.25	321.41

- 永野保育園については、入所児童が見込めないことから、令和 2 年 4 月から休園を予定しています。

民間保育園（令和元年 10 月 1 日現在）

	施設名	住所	建築年次	認可定員	利用定員
1	青い鳥幼児園	鳥居跡町 985-8	平成 13 年	195	180
2	津田保育園	白桑田 254-5	平成 10 年	150	110
3	茂呂保育園	茂呂 1884-3	平成 17 年	200	192
4	まなぶ保育園	下奈良部町 1-86	平成 23 年	150	130
5	日吉保育園	日吉町 590-1	平成 24 年	140	130
6	沖保育園	上殿町 515-5	平成 7 年	110	100
7	沖保育園分園	上殿町 721-4	平成 2 年	45	40
8	あづま保育園	千渡 750	平成 19 年	200	185

第4部 計画の推進に向けて

9	村井保育園	村井町 126-1	平成 23 年	200	190
10	さつきが丘保育園	西茂呂 4-9-22	平成 19 年	90	87
11	清洲保育園	深程 116-1	平成 18 年	60	60
12	大地の恵みのなーさりい	上石川 1528-1	平成 29 年	105	100
13	ふじおかメソッド ひなた保育園	上日向 174-1	令和 2 年	100	60

認定こども園（令和元年10月1日現在）

	施設名	住所	建築年次	認可定員	利用定員
1	認定こども園 仁神堂幼稚園	仁神堂町 37-81	昭和 52 年	175	120
2	認定こども園 いずみ幼稚園	泉町 2460	平成 13 年	140	130
3	認定こども園 鹿沼ひかり幼稚園	西鹿沼町 84	平成 30 年	280	195
4	認定こども園 鹿沼みどり幼稚園	茂呂 546-5	平成 31 年	195	176

新制度幼稚園（令和元年10月1日現在）

	施設名	住所	建築年次	認可定員	利用定員
1	鹿沼幼稚園	東末広町 1934	昭和 40 年	245	160
2	聖母幼稚園	戸張町 2488-1	平成 23 年	140	90
3	晃望台幼稚園	貝島町 566-8	昭和 52 年	245	130
4	清滝寺幼稚園	口栗野 1388	昭和 54 年	70	25

第4部 計画の推進に向けて

小規模保育事業所（令和元年10月1日現在）

	施設名	住所	開設年次	認可定員	利用定員
1	保育所ちびっこランド鹿沼園	上野町 329	平成 27 年	19	19
2	グリーンチャイルドクラブ	西茂呂 3-7-18	平成 27 年	15	12
3	すみれ保育園	上野町 59-53	平成 28 年	18	18
4	太陽さんさん保育園	銀座 1-1875	平成 28 年	19	19

事業所内保育事業所（令和元年10月1日現在）

	施設名	住所	開設年次	認可定員	利用定員
1	にじのもり保育園	千渡 1585-1	平成 27 年	19	19
2	保育園すまいるくりえいと1	西茂呂 4-41-2	平成 28 年	19	19